

みかん

発芽期を 迎えます



果樹林産センター
杉本 悠太郎

《改植》

注文いただいた苗木の植え付け時期です。植え付け後に、**植え傷みや枯れてしまうと**いった原因の多くは、**植え付け前後の根の乾燥が原因だと思われる**。苗木が到着したら、すぐに水を張ったバケツなどに根部分を浸けましょう。植え付け時に根や枝の調整を行う時も、他の苗木はバケツの中に浸けておきましょう。植え付け後は、周囲の土を土手状に盛り上げて十分かん水を行うことで根と土を密着させます。

《剪定》

効率の良い剪定は、園地や樹の状態に合わせた剪定時期・方法で優先順位をつけて行うことです。表年の樹は「早く強く」、裏年の樹には「遅く・弱く」を基本にして効率良く作業を進めましょう。また、剪定の目的は、「樹

冠や樹高の調整で作業性の向上」、「採光・通風を確保し果実品質向上や病害虫の発生を減らす」、「発育枝の剪除や予備枝の設定による着花量の調整」です。この目的を念頭に置き

ハサミやノコギリを入れていけば、樹高の切り下げや逆向枝の除去、被さり枝や強い徒長枝の除去、枯れ枝や病害虫が発生している枝の剪除、果梗枝の整理や夏秋梢の処理、間引き剪定と切り返し剪定の使い分けなどやるべきことが見えてきます。

《春肥》

春肥は、新芽の充実や幼果の肥大に使われます。施用時期が早いと根の養分吸収率が低いため流れてしまい、遅いと新芽の充実や幼果の発育時に養分が行き渡らず樹勢の低下を招きます。また、**春草は除草し、施肥後の吸収率を高めるため、中耕を行ってください。**

3月中旬

- ・早生 柑配6号4袋
- ・青島 柑配4号5袋

《病害虫防除》

昨年の度重なる台風の影響で、かいよう病の発生が心配されます。発生が心配される園や品種では、一番効果的な発芽前に防除を行います。

また、1月にマシン油散布を実施していない場合は、散布を行います。ICポルドー66Dとの散布間隔を2週間程度あけてください。

- ・かいよう病(発芽前)

ICポルドー66D	60倍
ミカンハダニ、カイガラムシ類	
マシン油乳剤(97%)	60倍